

『人喰いの時代』は山田正紀氏による昭和初期の〇市(小樽市)を舞台にした連作短編小説です。「人間心理の探究者を目指している」と打ち明ける、探偵・呪師^{しゅし れいたろう}霊太郎が樺太へ渡る連絡船の中で偶然出会った青年、樺^{さわら}秀助^{しゅうすけ}とともに事件を解決していきます。特高警察が若者の後を追ひ、日本が戦争に向かっていくどこか不穏な空気も物語全体を包み込んでいます。

オタモイ遊園地や北海道大博覧会など、小樽の歴史を写真や当時の資料で振り返るとともに、山田正紀氏によってどう描かれ作品となっているかを辿ることで、歴史と小説の二つの視点から小樽という場所を眺める展覧会です。



呪師霊太郎像 イラスト YOUCHAN

—— イベント ——

■ 山田正紀氏記念講演 ■

10月1日(日)午後2時～3時
聴講無料
申込: 市立小樽文学館
電話(0134-32-2388)
場所: 文学館1階研修室
定員: 50名(申込順)



山田正紀 『人喰いの時代』 1988年・徳間書店

市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5
tel.fax.0134-32-2388



公式Twitterで
最新情報発信中!

JR函館本線		● 小樽駅	
● 小樽経済センター			
● 商業会館	● 郵便局	● 長崎屋	● サンプルスクエア
● オークセントホテル小樽			
金融資料館(旧日本銀行)		● 市立小樽文学館	
● 郵便局本局		● 小樽吾南村	
● 小樽運河		旧手宮線	

JR北海道「小樽駅」から
徒歩約10分
・駐車場有



山田正紀(やまだ まさき)

1950年愛知県生まれ。1974年『神狩り』でデビュー。『地球・精神分析記録』『宝石泥棒』などで星雲賞、『最後の敵』で第3回日本SF大賞、『ミステリ・オペラ』で第2回本格ミステリ大賞、第55回日本推理作家協会賞を受賞。SF、本格ミステリ、時代小説など、多ジャンルで活躍。日本SF作家クラブ第9代事務局長、第12代会長を務めた。